

令和4年4月23日

# メンタルホスピタル鹿児島新病院等 整備事業計画

## 説明会

## ～これまでの経緯について～

- メンタルホスピタル鹿児島（以下、当院）は昭和5年に鹿児島脳病院として開設し、以来90年以上にわたり民間精神科病院として地域で必要とされる医療機関を目指し、尽力して参りました。
- また、当院の慢性期病棟におきましては、昭和30年代より改築・改修を重ねながら入院患者様の療養及び地域移行を支援するための医療サービスを日々提供しております。
- しかし、慢性期病棟建物も竣工後50年以上が経過し、建築構造および設備の老朽化が著しく、耐震性能上、喫緊に再整備が必要な状態です。

## ～これまでの経緯について～

- これまで当院は、精神療養病棟等の機能を持つ新しい慢性期病棟を鹿児島市石谷町に整備する中長期計画を策定し、計画を進めて参りました。
- 一方、国においては、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの推進を新たな政策課題とし、患者様ができるだけ早く社会に復帰し、地域で継続して生活をおくれるように長期入院者の地域移行支援を更に推進する方針が示されました。
- 国の方針を受け、当院においても、地域移行機能強化病棟やピアサポーターの活用等により、長期入院者の地域移行支援を進めて参りました。
- 長期入院者の地域移行や地域定着をさらに進めるためには、現在地（鹿児島市永吉）にある訪問看護、就労関連事業所、グループホーム等の社会資源の活用と連携が大変重要となります。
- したがって、鹿児島市石谷町に整備予定であった慢性期病棟を、退院後の通院等の利便性が良く、社会資源も整備されている現在地に、既存施設と一体的に整備する方針を理事会で決定いたしました。

## ～本計画における高齢者地域医療への取り組み～

- 今後は地域の高齢化が進む中、当院として認知症高齢者支援対策の推進にも注力いたします。
- 本計画において全体の病床数としては現在の450床から病床数を51床削減し、399床といたしますが、認知症治療病棟については現在の50床から51床増床し、101床といたします。
- 新築計画を通して、地域の皆様にも快適なアメニティのもと、安心して治療に専念して頂けるような環境を整備いたします。
- また、高齢者の入院機能の充実のみならず、地域の皆様が住み慣れた家に住みながらサービスの提供が受けられる在宅支援策も行います。
- 認知症の方々向けのデイケアを新たに実施し、送迎つきでサービスをご提供いたします。
- 上記取り組みを通して、当院として地域のご家族の認知症介護における負担軽減に少しでも貢献させていただけるようご支援させていただきます。